

社会教育研究部門

「青年の自立と教育文化」研究部会（第50回）

日時：2017年4月21日（金）14:00～16:00

場所：野間教育研究所 2F 閲覧スペース

出席：田嶋一・内藤俊史・青柳路子・齋藤智哉 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・泉水里香

欠席：上野浩道兼任研究員

内容：（1）内藤俊史氏の研究中間報告：2016年7月発表の続き。「青年期における心理的自立—感謝感情のあり方を通して（仮）」

◆全体の構成案

1. 青年期における心理的自立

①心理的自立の意味

②心理的自立と感情

2. 青年期における感謝と心理的自立

①感謝の発達—青年期以前

・乳児期

・感謝の言葉の使用

②児童期から青年期前期における感謝のルール（「感謝の文法」の習得）

・感謝の文法—共有する感謝のルール

・児童期における「感謝の文法」の獲得—いくつかの研究

・感謝による反応の変化—応報の感謝から関係の感謝へ

・まとめ

③青年期以降における感謝—個別的な関係を越えた感謝に向けて

・青年期における感謝の課題—公正性と関係性

・親に対する感謝に関するこれまでの研究

・青年期に想定される感謝の展開—まとめ

*青年期前期

*青年期中期—依存への反省、家族との関係の再認識

*青年期後期—大人社会への参加、家族との関係の再認識と再構築。感謝のあり方の変化。感謝の課題

自律／独立意識／心理的自立／感謝／マインドフルネス

3. 試みの調査—大学生における心理的自立（独立意識）と感謝の関係

◆心理学における言葉の問題

・「心理的自立」は心理学ではほぼ定着して用いられているが、そのまま使うか？

・自律性（autonomy）、独立意識、感謝等の言葉の定義

・次回研究会は、5月19日（金）14時～。上野研究員報告

・次々回は、6月16日（金）14時～。齋藤氏報告